

## 令和7年度第1回役員会会議報告

日時：令和7年7月27日（日曜日）午前9時30分～12時15分

開催形式：オンライン

出席者：

○役員（11名）

辻川敦会長、鎌田康浩副会長（福井県立文書館、宇佐美雅樹氏代理出席）、早川和宏副会長、森本祥子副会長、櫛原直樹事務局長、新井浩文大会・研修委員長、藤吉圭二広報・広聴委員長、高野秀行関東部会長（神奈川県立公文書館）、白井哲哉理事、松本正克監事（北海道立文書館）、毛塚万里監事

（欠席：加藤聖文調査・研究委員長、金田章裕近畿部会長（京都府立京都学・歴彩館）、福島紀子理事）

○本部事務局（6名）

櫛原直樹、松岡弘之、西木浩一、富田健司、宮田克成、宇佐美雅樹

○監事館事務局（1名）

石川淳（北海道立文書館）

○関東部会事務局（1名）

関根豊（神奈川県立公文書館）

### 1 報告

(1) 第26期（令和7・8年度）役員等について

○別紙1により第26期役員・委員・事務局員等の構成を説明

・出席者自己紹介

・総会配布名簿には中長期的な組織再編のあり方に関する検討チームと50周年記念事業検討チームの名簿を加える

(2) 会員の現況及び令和6年度会費納入状況報告

○別紙2により報告

(3) 地域別協議会活動報告

○別紙3・4により関東部会・近畿部会の活動状況を報告

### 2 協議

(1) 令和6年度事業報告

○別紙5により会長事務局・副会長事務局・各委員会の令和6年度事業を報告

(2) 令和6年度決算報告

○別紙6により令和6年度決算を報告

・令和6年度実質収支額は収入7,048,588円、支出9,646,625円、差引△2,598,037円

特別会計積立額 1,000,000 円を除いて単年度収支で 1,598,037 円の赤字

- ・令和 2 年度以降コロナの影響でイベント中止ないしオンライン開催、会議オンライン開催等により黒字が続いたが、令和 6 年度はイベント・会議リアル開催により開催費・旅費執行額が元に戻り、さらに事務局体制見直しによる外部委託費増により赤字となった
- ・広報・広聴委員会費決算上の赤字計上は、事務局業務外部委託費用を支出に計上しているが実際には会長事務局一括契約として支出しているため、これに充てる交付金が収入に計上されていないことによるもの、そのことがわかるような内訳記載等の工夫が必要

### (3) 令和 6 年度監査報告

- 決算監査資料作成遅延により監査未実施、総会に間に合うように監査を終え、書面報告により役員会の承認を得る予定

### (4) 令和 7 年度事業計画（案）

#### ○別紙 7 により報告

- ・総務・財務：総会・役員会の開催、各委員会経費の銀行口座を本部事務局口座に集約
- ・国際交流：10 月開催 ICA バルセロナ大会等国際会議の広報、海外派遣事務等を担当
- ・大会・研修委員会：第 51 回全国大会を 11 月に天草で開催、準備進捗中
- ・調査・研究委員会：予算状況考慮し公文書館機能普及セミナー見送り、調査・研究事業実施、災害対応・文化遺産防災ネットワーク推進会議との連携等は本部事務局に移管
- ・広報・広聴委員会：編集発行体制見直し、会報は 9 月発行第 117 号で終了、会員向け情報提供はウェブサイト掲載、大会特集号は会誌に吸収し令和 8 年度から会誌年 2 回発行

### (5) 令和 7 年度予算案

#### ○別紙 8 により報告

- ・予算編成見直しを行い単年度収支の均衡をはかる
- ・(2)決算の項目でふれた広報・広聴委員会経費にかかる委託費用・赤字計上のわかりにくさの解消が予算上も同様に必要、各分野にわたる事務局業務委託契約にかかる経費の全体像を示す必要がある

### (6) (7) 委員会設置要綱改正案及び広報・広聴委員会運営要領改正案について

#### ○別紙 9・10 により説明

- ・第 117 号を最後に会報を廃止するのにもない、委員会設置要綱の別表（第 3 条関係）及び運営要領の所掌事務（第 3 条）から広報・広聴委員会所掌事務中の会報にかかる条項を削除する、令和 8 年 4 月 1 日施行

### (8) 令和 7 年度総会について

#### ○別紙 11 により説明

- ・開催日：令和 7 年 8 月 23 日（土曜日）
- ・運営：立教大学共生社会研究センターに本部設置、東京近郊在住の副会長及び本部事務

局長・事務局員、議長等が本部に集まりオンライン開催を運営

- ・総会：午前 9 時 30 分～12 時 議長候補：高木秀彰氏（寒川文書館）に打診する
- ・イベント：午後 1 時 30 分～4 時開催（4 時前終了も可）、中長期的な組織再編のあり方に関する検討チーム及び 50 周年記念事業検討チームの検討状況を報告し、50 周年記念事業を中心に事業案について会員間で意見交換する

(9) 国際イベント派遣要綱について

○別紙 12 により説明

- ・2024 年 7 月役員会承認「会員海外派遣事業実施要綱」に基づき応募書類、選考手続き等を整備し、2025 年 10 月開催の ICA バルセロナ大会から適用する
- ・本役員会終了後、作成案を各役員に送付し確認を経て書面により決定する

(10) 旅費規程改正案について

○別紙 13 により説明

- ・国家公務員旅費規程改正に準拠し、各地の実情に応じた宿泊費上限を設定、パック料金設定の明確化等、令和 7 年 4 月 1 日にさかのぼって適用する

(11) 令和 6・7 年度表彰について

- ・奨励賞について会員からの候補者推薦を募集するが例年応募なし
- ・功労賞・感謝状は役員会継続協議事項、具体的な候補者提案なし、引き続き検討

[関連事項]

- ・国際イベント派遣要綱、旅費規程、表彰規程等を全史料協公式サイトに掲載し周知をはかる（広報・広聴委員会対応事項）

**3 その他**

- 本日の協議・意見交換を踏まえて各報告書類・改正案等を修正したうえで各役員に送付し、書面による確認を経て役員会としての正式な承認・決定とする

以上